

技術者が知って”得”をする 「特許明細書」の基礎知識

第1章 特許明細書と知的財産法

1. はじめに：講座の目的
2. 知的財産法の概略(1) (2)
3. 知的財産法の概略(3) (4)
4. 特許になる要件 (1)
5. 特許になる要件 (2)
6. 特許に該当しないもの (例)
7. 特許出願手続き書類(特許明細書)：特許法36条
8. 特許発明の技術範囲：特許法70条
9. 発明の4要素

第2章 特許明細書は発明の仕様書

1. 特許明細書は発明の仕様書
2. 仕様書の「文書構成」は共通
3. 特許明細書は発明技術の説明書
4. 特許明細書の文書構成(1)
5. 特許明細書の文書構成 (2)
6. 特許明細書の文書構成 (3)
7. 発明を理解いただいた処で「アイ・クレーム」

第3章 理解が得られやすい特許明細書の文書構成と文章記述

1. 特許明細書で使用する用語について
2. 使用されるべきでない語句や表現
3. 平明で分かり易い文章の基本
4. 読み易い特許明細書の構成と展開
5. 特許明細書をチェックするポイント
6. 全体の中での発明の位置づけを明確化
7. 【特許請求の範囲】を正確に読み取るポイント
8. 「単項制」と「多項制」

9. 日本の請求項と米国のクレームを比較

第4章 特許明細書について、弁理士からの解説

1. 特許明細書の作成準備をする
2. 【発明の名称】
3. 発明の詳細な説明：発明目的、構成、効果
4. 発明の目的：【技術分野】（発明の属する）
5. 発明の目的：【背景技術】（従来技術）
6. 発明の構成：【課題を解決するための手段】
7. 発明の構成：【発明を実施するための形態】（1）
8. 発明の構成：【発明を実施するための形態】（2）
9. 【発明を実施するための形態】と【特許請求の範囲】との関係
10. 【発明の効果】
11. 【図面の簡単な説明】
12. 【要約書】の記載（例）

第5章 【特許請求の範囲】について、弁理士からの解説

1. 請求項が複数記載できる要件
2. 複数の請求項を記載する目的は
3. むやみに請求項を増やすと不利になる？
4. 請求項（A）がダメでも（B）はOK？
5. 特定発明と関連発明
6. 【特許請求の範囲】の3つの表現形式
7. 構成要素の命名について
8. 構成要素を列挙する順序について
9. 演習：六角形の鉛筆の場合